



とやま夢大陸

Y U M E ・ T A I R I K U

2017.7
vol.109

CONTENTS

- 02 ■コンベンショントピック
- 03 ■コンベンショントピック
- 04 ■とやまの魅力アラカルト
『富山県美術館 8月26日(土)全面開館』
- 06 ■ちょっとひととき
■統計で見る「とやま」
- 07 ■富山県内の博物館・美術館など
■富山おみやげ図鑑
- 08 ■7月・8月・9月コンベンション・カレンダー

富山県新湊マリーナ

Pick up
Convention

国際歯科審美学会第10回世界大会、日本歯科審美学会第28回学術大会

大会長 千田彰(愛知学院大学歯学部教授)
平成29年9月14日(木)～17日(日) 参加予定者1,200名
富山国際会議場・ANAクラウンプラザホテル富山
テーマ：審美歯科の真髄と融和

国際歯科審美学会は、日本歯科審美学会、ヨーロッパ歯科審美学会、米国歯科審美学会が創始学会として、1994年にフローレンスで設立された国際組織です。日本国内では1997年に京都で開催(第2回大会)され、20年ぶりに誘致する事が出来ました。

17日には「美しい加齢に向けて」と題するシンポジウムを一般市民公開いたしますので、是非、お集まりください。

<http://ifed-2017.com/jp>



① 第4回日韓膝骨切りシンポジウム (4th Japan-Korea Knee Osteotomy Symposium)

- 日時：平成29年4月21日(金)～22日(土)
- 会場：富山市民プラザ
- 参加人数：約150名

2017年4月21日(金)、22日(土)に富山市民プラザを会場として第4回日韓膝骨切りシンポジウム(4th Japan-Korea Knee Osteotomy Symposium)を開催いたしました。

日韓膝骨切りシンポジウムは、2012年から変形性膝関節症に対する関節温存手術としての膝周囲骨切り術に関する知識、技術の発展、研究交流を目的として日本、韓国で交互に毎年開催されております。今回は国内から70名、韓国から70名、その他、ドイツ、米国、台湾、中国、シンガポールからの参加があり、参加総数150名の国際色豊かな学会となりました。内外の講師による講演8題、口演39題、ポスター44題の発表と活発な討論が行われました。



歓迎看板：JR新幹線富山駅



② 第3回マルチスケール多相プロセス工学に関する国際シンポジウム (MMPE2017)

- 日時：平成29年5月8日(月)～11日(木)
- 会場：富山国際会議場
- 参加人数：約110名

マルチスケール多相プロセス工学に関する国際シンポジウム(Third International Symposium on Multiscale Multiphase Process Engineering, MMPE2017)が富山国際会議場で開催されました。本シンポジウムは、化学、食品、医薬などの産業界において重要な役割を果たしている気泡・液滴・微粒子などを含む混相プロセスを扱う専門性の高い国際会議であり、3年毎に日本とドイツで交互に開催されています。今回は4件の基調講演、29件の一般講演、および48件のポスター発表があり、海外からは40名が参加しました。最新の研究動向の紹介はもちろんですが、一つの会場で朝から晩まで一緒に過ごすことにより研究者間の交流を深めることも本会議の目的となっています。富山の地酒・地ビールを振る舞ったグラントラザでのカクテルパーティーや、美味しい富山の食と伝統芸能を披露した懇親会、五箇山や瑞泉寺を訪れたエクスカーションなどで参加者は大いに懇親を深め、大変有意義なシンポジウムとなりました。



歓迎看板：JR新幹線富山駅



③ 2017年度 ISPE日本本部 15周年記念年次大会

- 日時：平成29年5月16日(火)～20日(土)
- 会場：富山国際会議場
- 参加人数：550名

ISPE(国際製薬技術協会)は世界90カ国に20,000名以上の会員を有する、医薬品などヘルスケア製品の製造における専門家に情報やコミュニケーション、教育などのサービスを提供する世界最大のボランティア非営利組織です。

ISPE日本本部は本年、設立15周年を迎え、薬づくりの歴史と伝統の地である富山で記念年次大会を開催しました。国内はもとより、欧米・アジアの15カ国からの医薬品産業・行政の第一線でご活躍の方々が参加し、「医薬品産業の破壊的イノベーション(新時代への期待と挑戦)」をテーマに掲げ、2日間にわたる、講演・ワークショップを通じて活発な情報交換と交流を深めました。

大会前後には、海外参加者を対象に富山の製薬工場視察、及び、雪の大谷と五箇山観光のツアーを実施しました。参加者には、富山の魅力を満喫して頂くこともでき、大会と合わせて大盛況のうちに終了しました。富山の製薬関係者の皆様をはじめ、コンベンションビューローのボランティアの皆様にもご協力頂きましたことを、この場をお借りして深くお礼申し上げます。



歓迎看板：JR新幹線富山駅



④ 第68回全国植樹祭とやま2017

- 日時：平成29年5月28日(日)
- 会場：魚津桃山運動公園他
- 参加人数：約7,400人



歓迎看板：富山きときと空港

富山県では48年ぶり2回目となる全国植樹祭が、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、魚津市で開催されました。式典会場は、氷見のスギ丸太を使い「富山らしさ」を表現したお野立所や、大会初となる木製テント、招待者席のベンチ、おもてなし広場の屋台や陳列台にも県産材をふんだんに使い、温かみのある雰囲気です。県内外からの参加者をお迎えしました。

この大会を契機に、地域住民やボランティア団体などによる健全な森づくりの取り組みの輪を全国に広げるとともに、漁業関係者も参加して行う植樹活動など森づくりと海づくりを一体にとらえた県民の活発な実践活動、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及など、本県の先駆的な取り組みを全国に発信することができ、参加された多くの方々から、富山の美しい自然、多彩な伝統・文化、食の魅力を活かした素晴らしい大会であったとの評価をいただきました。



⑤ The 18th International Symposium on Laser Precision Microfabrication(LPM2017)

- 日時：平成29年6月5日(月)～6月8日(木)
- 会場：富山国際会議場
- 参加人数：264名



歓迎看板：富山きときと空港

最先端レーザ加工の科学と技術を扱う国際会議「第18回レーザ精密微細加工国際シンポジウム (LPM2017)」が富山市で開催されました。本分野をリードする研究機関、大学、産業界の研究者・技術者が一堂に集い、レーザ加工を支える科学基盤の確立はもとより、産業実用化に向けた最新の技術開発について活発な議論を交わしました。プレナリー、スペシャルセッション、口頭・ポスターセッションにより構成され、来場者264名の内、海外20ヶ国から130名の参加があり、国際色豊かな会議となりました。懇親会では、富山の美酒佳肴が振る舞われ、伝統芸能である「越中おわら節」が催されるなど、参加者の交流を深める良い機会となりました。



平成28年度コンベンション開催状況

～件数・参加者数とも過去最多～

当ビューローでは、約700の機関・団体等の協力を得て、平成28年度に富山県内で開催された北陸ブロック規模以上の学会や大会等のコンベンションの開催状況をまとめました。

県内のコンベンション開催件数は、270件（対前年度比100.7%）で、参加者総数は92,122人（同101.3%）となり、件数・参加者数とも過去最多となりました。

これは、「第55回全国自治体病院学会 in 富山」などの全国レベルの大規模コンベンションの開催も多く、県外参加者数が45,449人（同101.2%）と伸びたこと、「G7富山環境大臣会合」などの国際会議の開催により外国からの参加者数が1,837人（同164.5%）と伸びたことによるものです。



G7富山環境大臣会合



国際化合物シンポジウム
インジウム燐関連材料国際会議



第55回全国自治体病院学会in富山

コンベンション会場で参加者を温かくお迎えするボランティア達 (LPM2017 / H29年6月5日～8日)



インフォメーション業務



アシスタント業務

富山県美術館

8月26日[土] 全面開館



(C) 富山県美術館

富山県美術館は3月25日(土)に建物のお披露目を兼ねて一部開館して以来、おかげさまでわずか3ヶ月のあいだに37万人近くの来館者を数えている。家族連れやご婦人たちのグループ、若いカップルで大にぎわいであるが、とくに4月29日(土)に「オノマトペの屋上」を解放してからは、連日子どもたちの歓声につつまれている。土日、祝日に至ってはまるで「子どもの王国」のようだ。城南公園にあった当館の前身、富山県立近代美術館の来館者がなかなか年間10万人を超えられなかったことを思えば、これは本当に驚くべき数である。なにしろ全面開館は8月26日(土)に予定され、展覧会はまだ何ひとつ開かれていないのだから。

その秘密はどこにあるのだろうか。富山県立近代美術館の富岩運河環水公園西地区への移転が決まったのはわずか4年前のこと。おぼえておられる方も多いと思うが、当時この場所には芝生におおわれた「見晴らしの丘」があり、その上には「ふわふわドーム」という一種のトランポリンといくつかの遊具があって、雄大な立山連峰のパノラマを背に子どもたちが楽しそうにピョンピョン飛び跳ねていた。

ここに新美術館を建てると子どもたちから人気の遊び場を奪うことになる。この問題を解決するためには新美術館の屋上に「見晴らしの丘」をつくり、「ふわふわドーム」を復活させればよいと提案してくれたのが建築家の内藤廣さんだった。そして、屋上庭園の監修と遊具デザインをNHK教育テレビの子ども向け番組「デザインあ」の監修者である佐藤卓さんをお願いしたところ、佐藤さんは「ふわふわ」がオノマトペ(擬声語、擬態語などを意味するフランス語)であることに着目して、「うとうと」「ぐるぐる」「ひそひそ」「ぷりぷり」などといったユニークな遊具がならぶ「オノマトペの屋上」を考案してくれた。4月29日(土)の屋上庭園のオープニングには近隣の小学校の児童たちが多数参加して

くれた。子どもたちが殺到して「ふわふわドーム」が一時ペチャンコにつぶれるといったハプニングもあった。その光景を目にして、ここが本来子どもたちの遊び場だったことに、私は改めて気づかされた。

それではなぜオノマトペなのか。通常のことばが思考の源であるのに対して、オノマトペとは要するに、視、聴、味、嗅、触の五感をはじめすべての感覚器を動員して対象を自分のからだの中に捉えようとする「カラダコトバ」なのだ。だからこそオノマトペは何か普遍的な共感をよぶことができるのではないだろうか。

富山県美術館が目指すもののひとつは、より主体的にアートを体験する、可能ならば五感で体感する美術館である。ここには、いつ来ても何かしらの創作活動ができるアトリエ、アクション・ペインティングのようにからだの動きがそのまま画像になる「3Dドローイング」、約1万3千枚のポスターコレクションの中から3千枚をデータベース化して、ランダムに流れる600枚の画像を自由に選んで拡大して見ることのできるポスタータッチパネルなど、いろいろ新しい工夫が凝らされている。「オノマトペの屋上」はそのいわば目玉なのである。

富山近美から受け継いだすぐれた美術コレクションを活かすこと、そして環水公園という場所の力を活かすこと、これがわれわれにとって大きな課題であるが、その中でとくに重視しなければならないのは、未来を担う子どもたちである。公園と美術館のあいだの壁を取り払うことによって、美術館にひとつの大きな可能性が生まれるのではないかと、私は期待している。8月26日(土)の全面開館をどうか楽しみにしていただきたい。

富山県美術館 館長 雪山行二



ホワイエ (C) 富山県美術館



中央廊下 (C) 富山県美術館

富山県美術館の設置、運営の理念と特徴



富山県美術館 (TAD: Toyama Prefectural Museum of Art and Design)
 ※Toyama Art Designの頭文字をとり、TADと略称しています。

アートとデザインをつなぐ、世界で初めての美術館

世界的コレクションを、新しい切り口やテーマ、見せ方で紹介。来館ごとに発見が期待できる企画を展開し、新しい時代に対応するためにデザインの視点を積極的に取り入れ、人々とアートやデザインをつなぐ場となることを目指します。

富山の新しいビューポイントとなる美術館

館内はもちろん屋上から環水公園や立山連峰の眺望を四季折々に楽しめる空間を活かし、公園に遊びに行く感覚で、気軽にレストランやカフェ、ミュージアムショップなどを訪れ、集える場にします。

見る、創る、学ぶなど双方向で美術を体験する美術館

アトリエでの創作、ギャラリーでの展示に加え、作家の公開制作などにより、双方向の美術体験とその共有による新たな交流の場を生み出します。

産業の活性化にも寄与する美術館

新たなデザインによる工芸品や伝統工芸とコラボした土産の開発などにより、産業振興にも寄与します。

時代とともに成長して、価値が高まっていく美術館

県民に親しまれ、愛され、時代とともに成長して価値が高まっていくような美術館を目指します。

開館記念展 Part1 生命と美の物語 LIFE — 楽園をもとめて ※期間中展示替えあり

2017年8月26日(土)～11月5日(日)

古今東西の美術家が表現してきた「生命(LIFE)」をテーマに国内外の作品に館蔵品を加えたさまざまな国の各時代の名品約170点の作品を展示します。

一般 1,300円(1,000円)、大学生 950円(750円)、小中高無料 ※()内は20名以上の団体料金



「ぐるぐる」で遊ぶ子ども達
(C) 富山県美術館



「ひそひそ」で遊ぶ子ども達
(C) 富山県美術館

3/25
OPEN

レストラン、カフェ、ミュージアムショップ

	レストラン 日本橋たいめいけん 富山店	カフェ Swallow Cafe	ミュージアムショップ
営業時間	11:00 - 22:00 (L.O.21:30)	10:00 - 20:00	10:00 - 18:00
定休日	美術館休館日		



(C) 富山県美術館

	開館時間	休館日	観覧料
美術館	9:30～18:00 (入館は17:30まで)	毎週水曜日(祝日除く) 祝日の翌日・年末年始	コレクション展 一般 300円(240円) 大学生 240円(150円) ※()内は20人以上の団体料金
屋上庭園 オノマトベの屋上	8:00～22:00 (入館は21:30まで)	12/1～3/15	企画展 展覧会により異なる ※企画展観覧料でコレクション展 もご覧いただけます ※高校生以下はコレクション、 企画展ともに無料

- ・エレベーター(車椅子1台可)、多目的トイレ、親子トイレ、授乳室、貸出用車椅子、貸出用ベビーカー(2台)を備えています。

お問い合わせ

○富山県美術館
 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20 TEL 076-431-2711 FAX 076-431-2712
<http://tad-toyama.jp>



ちょっと
ひといき

健康まめ知識

体も地域も元気にするエゴマパワー、 気軽に食べて夏バテを予防しましょう!

最近、エゴマが健康に良いと注目されています。エゴマはシソ科の一年草で、その葉は独特な風味と苦味が特徴。日本より韓国で多く食べられ、焼肉屋ではよくサンチュと一緒に出てきます。韓国旅行の時に食べたことがある方も多いのではないのでしょうか。

このエゴマ、近年の研究で葉や種に高い抗酸化作用があることがわかりました。葉にはロズマリン酸やクロロフィル、ビタミンCなどが多く含まれ、細胞の劣化を予防したり、遅らせたりします。また種を搾った油にはα-リノレン酸という必須脂肪酸が多く含まれ、血流を改善し、高血圧や糖尿病などの生活習慣病を予防します。

こうしたエゴマのパワーに着目し、富山市では数年前から山田村を拠点にエゴマを栽培。特産品にして地域活性化につなげようと取り組んでいます。そのおかげで近頃は、スーパーや直売所で地元産のエゴマの葉やエゴマ油を見かけるようになりました。

エゴマはいろんな料理で食べることができます。葉はシソと同様、刻んで冷奴や素麺に添えたり、そのまま肉や厚揚げを巻いて焼いたり…。一方エゴマ油は、含まれているα-リノレン酸が熱に弱いのでそのまま使うのがポイントです。例えば水にさらした玉ねぎ、刻んだ人参、パプリカ、サーモンに、エゴマ油、塩、レモン汁を合わせた液をかけてマリネを作るなど…。エゴマ油は小さじ1杯程度で1日に必要なα-リノレン酸がとれるそうです。

この夏は地元産のフレッシュなエゴマを食べて健康増進、そして地産地消。毎日の食卓に積極的に取り入れ、元気に過ごしましょう。

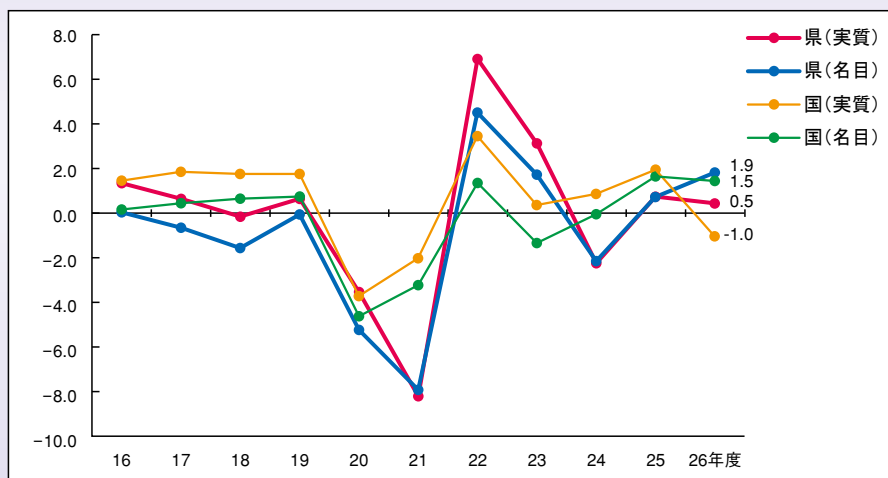


平成26年度富山県民経済計算結果 ～1人当たり県民所得は全国第5位～

本年1月に公表した平成26年度富山県民経済計算の推計の結果、県内総生産は、名目4兆4,526億円、実質4兆6,984億円となりました。また、対前年度経済成長率は、名目1.9%増、実質0.5%増と、名目、実質ともに2年連続のプラス成長となりました。

1人当たり県民所得（県民雇用者報酬、財産所得、企業所得の合計を総人口で除したもの）は、対前年度0.5%増の3,185千円で全国第5位と、前年度（第6位、遡及改定後）より順位を上げ、北陸3県では最も高くなっています。

【経済成長率(%)の推移】



【1人当たり県民所得(平成26年度)】

	順位	都道府県	金額(千円)
上位県	1	東京都	4,512
	2	愛知県	3,527
	3	静岡県	3,220
	4	栃木県	3,204
	5	富山県	3,185
	6	広島県	3,145
	7	三重県	3,144
	8	滋賀県	3,126
	9	山口県	3,126
	10	群馬県	3,092
北陸三県	5	富山県	3,185
	14	福井県	2,973
	16	石川県	2,947
1人当たり国民所得			2,868

※ 県民経済計算では、県内総生産額や経済成長率、産業構造などを見ることができます。詳しくは県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/lib/k3/index.html>

お問い合わせ 富山県統計調査課 TEL 076-444-3191 FAX 076-444-3490

富山県内の博物館・美術館など

富山市佐藤記念美術館

富山市佐藤記念美術館は、昭和36年に開館した、富山城址公園内にある美術館です。佐藤工業株式会社会長であった故・佐藤助九郎が蒐集した東洋古美術コレクションを中心に、約1,000点余りの作品を所蔵しており、富山ゆかりの絵画や工芸品、茶道具などを展示しています。館内には、大正9年に完成した総檜造の書院と、江戸時代の茶席「柳汀庵」が移築されています。1階の茶室「助庵」では呈茶を行っており、風情ある茶庭を眺めながら、気軽にお抹茶を楽しむことができます。

DATA

〒930-0081 富山市本丸1-33 TEL 076-432-9031 FAX 076-432-9080

E-mail satoubijyutukan-01@city.toyama.lg.jp <http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse>

●開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ●入館料 大人210円 高校生以下無料

(特別展会期中は料金を変更します) ●休館日 年末年始、展示替え期間等館内整備日 ●アクセス／富山駅より徒歩15分、地鉄バス「城址公園前」下車 徒歩2分、ぐるっとBUS「城址公園」下車 徒歩2分、市内電車「国際会議場前」下車 徒歩3分、富山空港より連絡バスで20分、北陸自動車道 富山I.C.より車で15分 ※専用駐車場はありません



下山芸術の森 発電所美術館

取り壊される予定だった水力発電所を北陸電力株式会社のご厚意により譲り受け、美術館として再生した下山芸術の森 発電所美術館は、地方文化の新たな創造のエネルギーを発電する芸術の発信基地をめざし、1995年4月に開館いたしました。大正時代の面影を今に伝える煉瓦づくりのモダンな建物は、その価値が認められ1996年12月には国の有形文化財にも登録されました。タービンや導水管がそのまま残された展示スペースは、芸術的な創造力をかき立てる独特な雰囲気漂わせており、多くの美術作家から注目を集めています。天井高約10mの大空間を活かしながら、立体造形の展覧会を中心に、ここでしか見ることができない独自企画展を年3回開催しています。

DATA

〒939-0631 入善町下山364-1 TEL 0765-78-0621 FAX 0765-78-0621 <http://www.town.nyuzen.toyama.jp/cosmo/kyoiku/bunka/bijutsukan/bijutsukan/index.html>

●開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ●入館料 展覧会の内容によって異なります。企画展のみの運営のためその年度によって会期スケジュール、入場料に変更があります。詳細についてはお問い合わせください。 ●休館日 毎週月曜日(祝日の場合を除く)、祝日の翌日(土、日、祝日は除く) そのほか、展示替え期間中、冬期休館(12月中旬～2月末) ●アクセス／北陸自動車道 黒部I.C.より車で約15分、北陸自動車道 入善スマートI.C.(ETC専用)より車で約5分、北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅よりタクシーで約15分、あいの風とやま鉄道 入善駅よりタクシーで約10分



高岡市万葉歴史館

高岡市万葉歴史館は、『万葉集』を中心テーマに据えた初めての研究施設です。万葉集の代表的歌人であり中心的編者である大伴家持は、越中の国守として746年から約5年間、国庁が置かれた高岡の地に在任しました。そして家持や部下たちは、越中を舞台に「越中万葉」と称される300首以上の歌を万葉集に残しました。当館では万葉集や越中万葉の世界を楽しみながら学んでいただけるよう常設展示「家持劇場」や企画展示を行うとともに、万葉集とその時代を探究するための関係資料を収集・整理し、閲覧できるようにしています。また、定期的な学習講座・講演会、臨地学習を開催しています。

DATA

〒933-0116 高岡市伏木一宮1-11-11 TEL 0766-44-5511 FAX 0766-44-7335

E-mail manreki@takaoka-bunka.com <http://www.manreki.com/>

●開館時間 午前9時～午後6時(4～10月)・午前9時～午後5時(11～3月)※入館は閉館の45分前まで ●入館料 一般210円 中学生以下無料 65歳以上160円 団体(20名以上)170円 ●休館日 火曜日(火曜日が祝日の場合はその翌日)・年末年始 ●アクセス／JR氷見線伏木駅より徒歩25分、能越自動車道 高岡北I.C.より車で20分



富山おみやげ図鑑

「越翡翠硝子・越碧」

越翡翠硝子(コシノヒスイガラス)は、日本の国石である翡翠を含有する富山ガラス工房オリジナル素材で、その柔らかな色調は時を超えて神秘的な気品漂う翡翠の魅力を映し出しています。(画像右)

越碧(コシノアオ)は、富山湾の深く美しい碧をイメージして富山ガラス工房と富山大学が共同研究を行い開発したガラス素材です。(画像左)



富山ガラス工房

〒930-0151 富山市古沢152番地 TEL 076-436-2600 FAX 076-436-5735
URL:<http://www.toyama-garasukobo.jp> Mail:info@toyama-garasukobo.jp
営業時間 9:00～17:00

「越中富山 幸のこわけ」

「越中富山 幸のこわけ」は、ほたるいか、しろえび、ぶり等、美味しい富山の幸を小分けにし、おすそわけするというコンセプトで、富山の女性が厳選した29商品を統一のパッケージで販売しております。

多彩な富山の幸を選ぶ楽しさ、手頃な食べきりサイズが好評です。オリジナルのギフト箱にお好きな商品を詰め合わせ、贈り物としても喜ばれます。



ととやま(富山県いきいき物産株)

〒930-0002 富山市新富町1-2-3 CiCビル1F(富山駅前)
TEL 076-444-7137 FAX 076-444-7133 URL:<http://www.ikiiki-toyama.co.jp/>
営業時間 10:00～20:00

太陽の光が降りそそぐ、明るく活動的な季節となりました。

7月 8月 9月 コンベンション・カレンダー



7月	1	第79回日本病理学会 中部支部交見会	26	2017年「未来」富山大会
	~2	富山国際会議場 [160人]	~27	富山国際会議場 [220人]
	6	第26回日本意識障害学会	28	17th KAGRA Face to Face Meeting
	~8	富山国際会議場 [600人]	~30	富山大学五福キャンパス [105人]
	7	平成29年度北信越地区高等学校PTA連合会研究大会富山大会	8	日本哺乳類学会2017年度大会
	~8	富山県民会館 ほか [1,200人]	~11	富山大学五福キャンパス [500人]
	8	日本医学放射線学会第162回中部地方会	9	第15回全国まちづくり交流会 in 富山
	~9	日本核医学学会第85回中部地方会 第62回中部IVR研究会		ホテルグランテラス富山 [200人]
		富山大学杉谷キャンパス [300人]	10	第11回日本消化管学会教育集会
				富山国際会議場 [350人]
8月	15	第24回公益社団法人日本介護福祉士会全国大会	14	国際歯科審美学会第10回世界大会
	~16	第15回日本介護学会 in とやま	~16	富山国際会議場 ANAクラウンプラザホテル富山 [1,200人]
		富山県民会館 [1,300人]	17	日本歯科審美学会第28回学術大会
	19	第19回日本RNA学会年会		富山国際会議場 [550人]
	~21	富山国際会議場 [300人]	20	(公社)日本動物学会第88回大会(富山)
	27	第39回東海北陸地区特別支援教育研究大会 富山大会	~23	富山県民会館 [1,000人]
	~28	富山県民会館 ほか [850人]	23	第8回地域共生ホーム全国セミナー in とやま
	27	校務の業務改善推進セミナー	~24	富山国際会議場 [800人]
	~28	(平成29年度第1回学校マネジメントフォーラム)	25	第61回粘土科学討論会
		パレブラン高志会館 [180人]	~27	富山大学五福キャンパス [128人]
9月	28	第95回(公社)日本水道協会中部地方支部総会	28	平成29年度東海北陸地区身体障害者施設職員研修会
		富山国際会議場 [300人]	~29	ホテルグランテラス富山 [250人]
	28	全水道第71回定期全国大会	28	全商北信越地区商業教育研究大会
		富山国際会議場 [300人]	~29	オークスカナルパークホテル富山 [180人]
	5	茶道裏千家淡交会 北陸学校茶道連絡協議会	30	トランスジャパンアルプスレース講演会
		第37回研修会		ありそドーム [200人]
		富山県民共生センター [300人]	30~	経済教育学会第33回全国大会
	26	平成29年度中部地区獣医師大会	10/1	富山大学五福キャンパス [125人]
	~27	獣医学術中部地区学会		
		ホテルグランテラス富山 [600人]		

INFORMATION

平成29年度理事会・評議員会開催

理事会及び評議員会が開催され、平成28年度事業報告並びに収支決算について原案どおり承認されました。また、人事異動等に伴う一部役員等の選任も行われ、次の皆さんが選ばれました。

新任 理事	吉田晴彦 (YKK株式会社黒部事業所業務室長)	評議員	井上かおり (全日本空輸株式会社富山支店長)
評議員	有磯弘之 (黒部市産業経済部長)		砂原賢司 (富山県観光・交通・地域振興局次長)
	有沢和雄 (株式会社北日本新聞社営業局営業本部副本部長)		福田直之 (高岡市産業振興部長)

編集後記

今回のとやまの魅力アラカルトは、「富山県美術館」を紹介しました。3月に部分開館して以来既に来館者が30万人を超える盛況ぶり、8月の本格オープンに向けて期待が高まります。
また、昨年度のコンベンションの開催状況では、件数・参加者とも過去最多となりました。これからもスタッフ一同充実した支援体制でおもてなしをいたします。

コンベンション開催の支援やとやまの情報などは、ホームページをご覧ください。

ようこそ、富山県へ

[編集・発行]



公益財団法人
富山コンベンションビューロー

〒930-0083 富山市総曲輪2-1-3 富山商工会議所ビル7F
TEL.076-421-3300 FAX.076-421-0963
URL : <http://www.toyama-cb.or.jp/> E-mail : toyama-213@voice.ocn.ne.jp